

令和5年8月29日

保護者各位

登別市立登別小学校長
松田周一

令和5年度 全国学力・学習状況調査結果について（お知らせ）

残暑の候、保護者の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より、本校の教育活動の推進に対しまして、ご理解、ご協力を賜り、深くお礼申し上げます。

さて、4月18日（火）、本校におきまして、6年生を対象として標記調査を実施したところでございますが、過日、国より調査の結果が届きました。その中で、前年度までの国語、算数、理科の学力定着状況について、また、児童の学習状況にかかわっての貴重な分析結果を得ることができました。今回の結果につきましては、当該学年の結果としてだけでなく、本校の5年間の学びの足跡としてとらえ、これからの学習指導、生活指導等に活かしてまいります。下部・裏面には、各教科並びに児童質問紙の結果の概要、全国平均との比較について記載しておりますので、ご覧ください。

6年生のお子さん一人ひとりの個人別の結果に関しましては、学習内容の定着度合を把握し、さらなる個に応じた指導に役立ててまいります。また、個人票につきましては、個別にお子さんを通じて各ご家庭にお返しいたします。6年生の保護者様は本資料と個人票を、また、それ以外の学年の保護者様は、先般の標準学力調査の結果と合わせてみていただくことで、今後のお子さんへのご家庭での指導の一助として、役立てていただけますと幸いです。

最後に、本調査により測定できるのはあくまでもお子さん一人ひとりの学力の特定の一部であること、また、学校における教育活動の一側面であることを申し添えます。

1：調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2：調査概要

- ① 小学校6年生、中学校3年生
- ② 国語科、算数科（数学科）、英語（中学校のみ）
- ③ 生活習慣や学習環境等に関する児童生徒質問紙

3：調査結果（本校の矢印は、全国との差を表しています。）

<平均正答率（％）>

	本校	全国平均	全道平均	本市平均
国語		67.2	66	67
算数		62.6	61	58
理科	令和5年度は、調査がありません。			

<矢印の意味>
 全国平均正答率と、本校の平均正答率の差を表しています。
 ↑：上回る（概ね5p以上）
 ↗：やや上回る（概ね2p以上）
 →：同程度（概ね-2p～+2pの間）
 ↘：やや下回る（概ね-2p以下）
 ↓：下回る（概ね-5p以下）
 ※市と道の結果につきましては、四捨五入して公表されております。

<観点別・問題形式別正答率（％）>

観点・形式	①国語科		
	本校	全国平均	全道平均
知識・技能		68.9	67.4
思考・判断・表現		65.5	64.1
選択式		73.6	72.5
短答式		62.7	60.1
記述式		51.1	49.2

観点・形式	②算数科		
	本校	全国平均	全道平均
知識・技能		67.2	65.6
思考・判断・表現		56.5	55.0
選択式		57.7	56.5
短答式		74.7	72.7
記述式		47.3	46.0

③理科		
本校	全国平均	全道平均
令和5年度は調査がありません。		



<結果分析と今後の学習について>

<国語科>

・全体として、全道・全国の平均を上回る結果となりました。観点別・形式別で見ると、特に知識や技能に関する問題の正答率が高く、内容別で見ると、「読むこと」に関する問題の正答率は、全国に比べ低い結果となりました。問題別で見ると、全ての問題で無回答(何も答案用紙に書かない状況)が0となっており、児童全体がねばり強く調査問題に取り組んだことが伺えました。一方、5年生までに学習する漢字を、正しく書くこと、また、同音異義語や送り仮名に注意して書く問題では、やや課題が認められました。また、文章を読んで内容や文の中心を捉えることにおいては、正答率が高いものの、文の内容を理解したことに基づいて「自分の考えをまとめて記述する」問題では、全国・全道の正答率と比べて、大きな課題が認められました。

○学校では、朝学習や繰り返しの小テスト、ICT端末を中心とした、基礎・基本の定着はもとより、「叙述を基に」「筆者の主張を基に」「〇字程度(以内・以上)で」など、「求められている条件に沿って書く」力が、学齢に応じて身に付くよう授業改善に努めてまいります。また、ICT端末やノートに、自分なりの考えを書いたり整理したりする活動、それを基に、自分なりの根拠を明確にして話し合う活動など、対話を通じて理解や考えが深まるよう学習活動を工夫してまいります。

<算数科>

・全体として、概ね全道の平均正答率と同程度、全国の平均よりやや低い結果となりました。観点別・形式別で見ると、知識や技能に関する問題の正答率は全国平均並みであった一方、「適切な算数的用語や、言葉、数字を用いて、説明したり理由を書いたりする問題」「問題文と示された図から、必要な数を判断する問題」など、思考力、判断力、表現力を図る問題には、課題が認められました。問題別で見ると、比例に関する基礎計算など、各領域の「基礎」に関する内容は、全国と比べても比較的高い正答率でした。一方で、示された図形の「正しい名前」やその「性質」を問う問題、計算の求め方や、その数量になる「理由」を問う問題、「日常生活の事象」に置き換えて考える問題では、全国・全道の正答率と比べて、大きな課題が認められました。

○学校では、引き続き、朝学習や小テスト、ICT端末を活用した、個別最適な学び直しにより、全ての児童に、基礎的・基本的な力が身に付くよう、努めてまいります。また、身に付いた知識・技能が、「日常生活の中にある事象」や、「他の算数・数学的事象」と関連付けられ、理解が深まるよう、ICT端末やノートなど、思考するツールを活用しながら考える、書く、説明する、振り返る活動を充実させるなど、授業改善に努めてまいります。

<質問紙>

・全国の平均と比べ、著しく差があった質問項目は以下の通りでした。(質問項目の一部を抜粋) 特になかった項目については、学校全体の課題としてとらえ、授業改善、各ご家庭・地域との連携により、改善を図ってまいります。

○全国の平均値とくらべて肯定的回答が多かった質問項目

- ・毎日同じくらいの時刻に寝ているか。
- ・自分にはよいところがあるか。
- ・先生は、あなたのよいところを認めてくれると思うか。
- ・将来の夢や目標があるか
- ・困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できるか。
- ・自分と違う意見について考えるのは楽しいか。
- ・友人関係に満足しているか。
- ・自分で計画を立てて勉強しているか。
- ・1日1時間以上勉強しているか。
- ・今住んでいる地域の行事に参加しているか。
- ・外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思うか。
- ・日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思うか。
- ・5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、週3回以上使ったか。
- ・自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表しているか。
- ・学習課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいるか。
- ・国語の勉強は好きか。
- ・英語の勉強は好きか。

▲全国の平均値とくらべて肯定的回答が少なかった質問項目

- ・算数の勉強は好きですか
- ・算数の勉強は大切だと思いますか
- ・算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思うか。



<ご家庭では…>

・学校でのお子さんの健やかな学びには、家庭での生活リズムや学習習慣など、基本的な生活習慣の定着が欠かせません。今後とも、確実な宿題の取組、家庭学習の取組のご協力、お子さんへのお声がけをお願いします。(おおむね学年×10分以上)

・また、今年度の質問にはありませんでしたが、本校の課題の一つである、ゲームやスマートフォンから遠ざかる取組やご家庭での積極的な読書啓発のご協力、また、今後も継続して、早寝・早起き・朝ご飯、歯磨きなど、生活リズムを整える取組について、積極的なお声がけと、ご協力をお願いいたします。